



— 記者発表資料 —

令和元年 7 月 8 日  
日本下水道事業団

**JS 新技術がフィリピン国浸水対策事業で採用されました  
マニラ首都圏の浸水被害軽減に寄与！**

日本下水道事業団（JS）で新技術 I 類に選定された下記技術が、このたび、フィリピン共和国公共事業道路省発注のマニラ首都圏洪水対策事業においてポンプゲート用水中ポンプとして採用されることが決定しました（詳細は別紙のとおり）。

ポンプゲートは、機器点数が少なくポンプ建屋が不要なため、工事期間が短く建設費が安いのが特徴です。また、下記技術は、従来の横軸水中ポンプに比べると低水位での運転が可能かつ電気設備への負荷が軽減されていることが特徴です。

近年の世界的な気象変動や都市化により、浸水被害が増加しているマニラ首都圏の被害軽減に大幅に寄与することが考えられます。また、同様な課題を抱える東南アジア諸国の浸水対策においても採用が期待されます。

記

技 術 名 : 全速全水位型横軸水中ポンプ

開 発 者 : JS、(株) 石垣

新技術\* I 類選定日 : 平成 29 年 6 月 21 日

概 要 : 従来よりも低水位での雨水排水が可能な横軸水中ポンプです。水位によらず常時全速で運転を行うため、水路内水位を低く抑えて豪雨等による溢水対策に効果を発揮するとともに、起動/停止の繰り返しを減らし、電気設備への負荷が軽減され、インバータ制御が不要となります。

※JS では、地方公共団体の多様なニーズに応える新たな技術を積極的に下水道事業へ活用する観点から、受託建設事業に新技術を円滑に導入することを目的として、『新技術導入制度』を運用しています。

以上

(問い合わせ先)

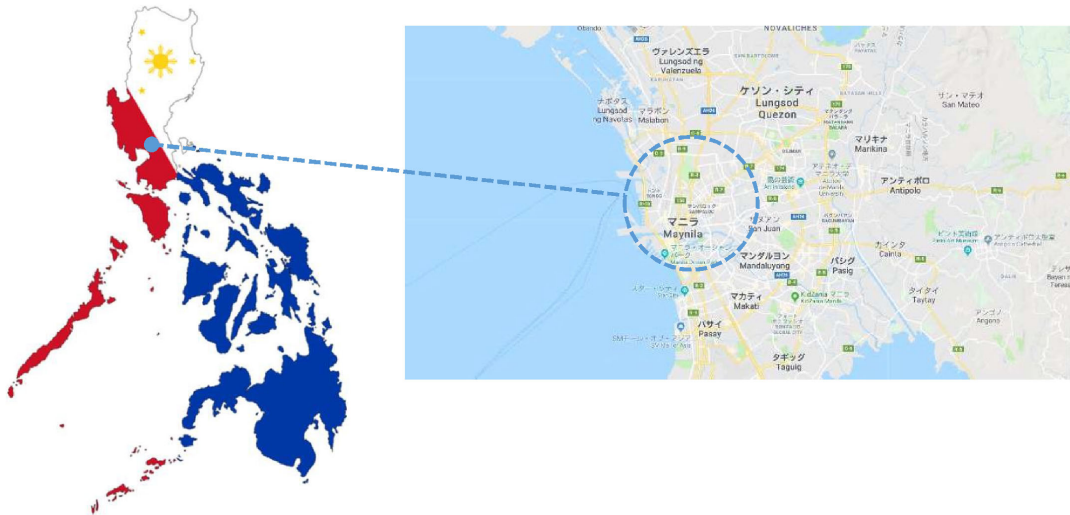
【本技術の海外展開について】

国際戦略室長 植田 達博 TEL: 03-6361-7855 E-mail: Ueda@jswa.go.jp

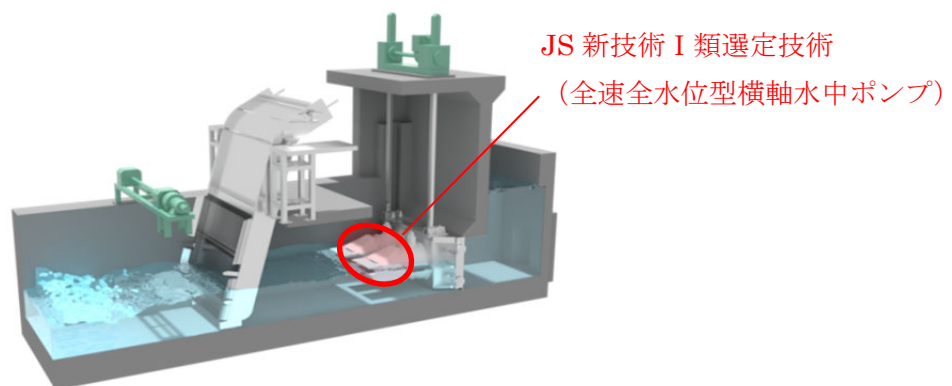
【本技術について】

技術戦略部次長 橋本 敏一 TEL: 03-6361-7844 E-mail: Hashimotot@jswa.go.jp

名称： Metro Manila Flood Management Project  
発注者： DPWH UPMO FCMC  
(Department of Public Works and Highways, Unified Project Management Office,  
Flood Control Management Cluster)  
： 公共事業道路省、統合計画管理事務所、洪水対策管理部門  
場所： フィリピン共和国、マニラ首都圏



- 内容： 全速全水位型横軸水中ポンプ『IGA-H-1200SG』 + ゲート
- サイズ・・・φ1200mm
  - 吐出し量・・・3.0m<sup>3</sup>/s
  - 全揚程・・・3.3m
  - 出力・・・170kW
  - 台数・・・1台



新技術 I 類： JS が共同研究により開発に関与した技術のうち、共同研究者からの申請に基づき、受託建設事業における適用性を確認し、実施への導入を進める技術として選定したもの。